

製品安全データシート

緊急連絡先

会社名 株式会社 日 近
住 所 大阪府大阪市西区南堀江 3-15-25
担当部署 営業部
電話番号 06-6585-0005
FAX 番号 06-6535-0561
作成日 2004年5月13日
改定日 2011年3月24日

1. 製品名 シリコーン70度 JIS B 2401 4種C

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類基準に該当しない
GHSラベル要素
絵表示又はシンボル : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : 特に有害ではない
注意書き
安全対策 : 眼に入らないようにする。
救急処置 : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
保管 : 非該当
廃棄 : 非該当
その他の危険有害性 : 特になし

本製品には最重要危険有害性があるとは判断できませんが、本製品には、以下のP R T R法、労働安全衛生法で指定された化学物質を含有しています。

法令・番号	物質名	一般名称	CAS 番号	含有量
労安法 312	シリカ			40~50%

尚、これらの化学物質の人に対する有害な影響、環境への影響、物理的及び科学的危険性並びに特定の危険有害性につきましては、それぞれの化学物質のMSDSをご覧ください。

最重要危険有害性 有 害 性 : 特に有害ではない
環 境 影 響 : 非該当
物理的・化学的危険性 : 非該当
主要な徴候 : 一回の通常の使用では悪影響は予期されない。
分類の名称 (分類基準は日本方式) : 非該当

3. 組成・成分情報 混合物 シリコーンコンパウンド

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 特に応急手当の必要はない
皮膚に付着した場合 : 特に応急手当の必要はない
目に入った場合 : 特に水で洗い流すこと
飲み込んだ場合 : 特に応急手当の必要はない
注釈 : 症状に応じて処置すること
医者に対する特別注意事項 : 症状に応じて処置すること。さらに詳細な情報が必要な場合は、弊社まで連絡ください。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 火災が大規模な場合、粉末消火剤、泡消火剤、または、水噴霧を使用すること。火災が小規模な場合、二酸化炭素(CO₂)、粉末消火剤、または水噴霧を使用すること。炎に照らされた容器を冷却するために水が使用可能である。
使ってはならない消火剤 : 特に決まっていない。
火災時の特定危険有害性 : 特になし。
特定の消火方法 : その地域の緊急計画に従い、速やかに避難し人を近付けないこと。炎に照らされた容器を冷却するたに水スプレーを使用すること。
消火を行うものの保護 : 化学物質を含む大規模な火災を消火する際には、自給式呼吸装置付き耐熱性保護衣服を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 飲み込まないこと。
環境に対する注意事項 : 下水溝や、水面に大量に投棄してはいけない。
除去方法 : 製品安全データシート上に記載されている個人用推奨保護具の全てを参照すること。収集後、容器に回収し処理する。本品の放出や破棄は法律や規制の対象になる可能性がある。また同様に洗浄に使った道具類もその対象になりうる。どの法律や規制が適用されるかを判断する必要がある。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策 : 適切な換気をする。こと。
注意事項 : 飲み込まないこと。
安全取扱い注意事項 : 労働衛生の実施を徹底すること。作業後特に飲食や喫煙の前には手を洗うこと。

保管

- 1) 製品の品質を確保する為、屋外保管を避け、涼しい乾燥した場所を選んで高温・高湿・直射日光・水漏れを避けて下さい。
尚、屋内保管に際しても、白熱灯や水銀灯など紫外線を出す照明は避けて下さい。
- 2) 使用直前まで開封しないでください。
- 3) 製品に負荷がかからない様保管をしてください。
- 4) 吊り下げた状態では局所的な変形がおきます。吊り下げないでください。
- 5) 適切に配慮して酸化物質から離して保管すること。

- 受入れ上の注意 : 製品の入ったポリエチレン袋の外装面にラベルがはってありますのでよく確かめて受入れしてください。また、ロット No.はトレーサビリティを追跡する上で重要となりますので記録するようお願い致します。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- 局所排気装置 : 特に必要なし。
一般排気装置 : 適切な換気を行うこと。
管理濃度 (労働省告示第 26 号、作業環境評価基準) 特になし

許容濃度 : 特になし

保護具

通常の取扱い用保護具

- 呼吸器用保護具 : 特に保護マスクを必要としない。
適切な保護マスク : 特に必要なし。
手の保護具 : 特別な手袋を必要としない。
目の保護具 : 適切な保護具を着用する事。最低限、安全メガネは必要である。
皮膚及び身体の保護具 : 食事及び勤務交代時に手を洗うこと。
適切な衛生対策 : 労働衛生の実施を徹底すること。作業後、特に飲食や喫煙の前には手を洗うこと。

漏洩時保護具

- 呼吸器用の保護具 : 特に保護マスクを必要としない。
目の保護具 : 適切な保護具を着用する事。最低限安全メガネは必要である。
皮膚及び身体の保護具 : 食事及び勤務交代時に手を洗うこと。
予防措置 : 飲み込まないこと。適切に配慮して使用すること。
注釈 : 本品は 150℃以上に加熱させると、少量のホルムアルデヒドが生成する可能性があるため、十分な換気が必要である。
付記 : これらの予防措置は室温での取扱い用です。高温下やエアロゾル噴霧のもとでの使用はさらに予防措置が必要です。

9. 物理的及び化学的性質

- 外 観 : 弁柄・ゴム製品
比 重 : 1.30~1.36
臭 気 : 微臭
pH : データなし
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
沸点/沸点範囲 : データなし
融点/融点範囲 : データなし
分解温度 : データなし
引火点 : >100℃セタ密閉式
発火点 : データなし
爆発特性 : データなし
蒸気圧@25℃ : データなし
蒸気密度 : データなし
溶解性 : 水に不溶
オクタノール/水配係数 : データなし
粘度 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 安定である
反応性 : 危険な重合は起こらない
避けるべき条件 : 特になし
避けるべき材料 : 強酸化剤と反応する場合がある
危険有害な分解生成物 : 石英。酸化炭素類、微量の不完全燃焼した炭素化合物。
二酸化ケイ素。ホルムアルデヒド。金属酸化物。
-

11. 有害性情報

- <急性毒性> 特になし
<局所効果> 目 : 一回の暴露では、重大な刺激はないと推定される。
皮膚 : 一回の短時間の暴露では重大な刺激が無いと推定される。
<急性暴露影響> 飲み込み : 通常の使用においては、摂取による毒性は低い。
吸収 : 一回の短時間の暴露では、重大な影響は無いと推定される。
<発作性物質> 特になし
<慢性毒性・長期毒性> 皮膚 : 影響は、わかっていない
飲み込み : 繰り返し経口摂取したり、多量に飲み込んだ場合は、
体内に損傷を与える場合がある。
吸入 : 影響は、わかっていない。
<がん原性> 成分名 クリソトパライト
説明 IARCグループ1ーヒトに対して発がん性がある。
NTP-発がん性があることが知られている物質
付記 : 結晶性シリカ (石英やクリソパル石など) や他の繊維状ダストの、
吸入可能な粒子に暴露された場合、人体に対して健康
被害を引き起こす。本品に含有されている結晶性シリ
カは、その処方 (未硬化または硬化) から考えて、吸
入可能な形態にはならない。
<変異原性> 特になし
<催奇形性> 特になし
<生殖毒性> 特になし
<その他の情報> 影響はわかっていない

上記の過剰暴露に関わる潜在的影響は、実際のデータ、類似組成物や成分に基づく検討、
あるいは製品の専門家による吟味などによるものである

12. 環境影響情報

- <移動性> 非水溶性の固体物質。悪影響は予期されない。
<生体蓄積性> 生体蓄積性の可能性はない。
<生態毒性> その他 : 水生生物に対する悪影響は予期されない。
-

13. 廃棄上の注意

- <廃棄物処理> 本品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の産業廃棄物に相当する。
関係する法律や地方条例などに従い廃棄すること。
<付記> なし
-

14. 輸送上の注意

- <国内・国際規制> 第15項を参照のこと
<海上輸送(IMDG)> IMDGコードに該当しない
<航空輸送(IATA)> IATAコードに該当しない
-

15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）：非該当
労働安全衛生法（労安法）

通知対象物 : 番号(311) 通知物質 (シカ) 含有量 wt% (40~50)

名称等を表示すべき有害物 : 非該当
有機溶剤中毒予防規則 : 非該当
特定化学物質等障害予防規則 : 非該当
鉛中毒予防規則 : 非該当
四アルキル鉛中毒予防規則 : 非該当
危険物 : 非該当
製造等禁止物質 : 非該当

高圧ガス保安法 : 非該当
消防法 : 指定可燃物 合成樹脂類 その他のもの (3,000kg)
毒物及び劇物取締法 : 非該当
環境汚染物質排出・移動登録(PRTR) : 非該当
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 : 海洋汚染物質に分類されない

既存化学物質リスト

KECL : 全成分が登録済みか、除外規定が適用されるか通知されている。
MITI : 全成分が化審法に登録されているか、除外規定が適用される。
TSCA : 未評価
EINECS : 未評価
DSL : 未評価
PICCS : 未評価
AICS : 未評価
IECSC : 未評価

16. その他の情報 引用文献：化学品法令集、当社技術資料その他

ここに提供される情報は、代表値として誠意を持って示すものですが、製品規格を示すものではありません。ここに記述されたり意味するところは保障されるものではありません。推奨される労働衛生や安全取り扱い方法は、一般的に適用可能と考えますが、実際御使用になる環境において、これらが適切であるかどうか検討し、判断していただくようお願いいたします。本品は、一般工業用と向けに開発、製造されたものです。医療用途その他の安全面での配慮を必要とする用途へのご使用に際しては、貴社にて事前に当該用途での安全性をご試験、ご確認のうえ、ご使用可否をご判断下さい。なお、体内に埋植、注入する用途、または、体内に一部が残留する恐れがある用途には、絶対に使用しないで下さい。

ご注意

* 本記載内容は、現時点で当社が入手した資料、情報、データに基づいて作成しておりますので、新しい知見により、改訂されることがあります。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。